

第21回 寺内杯 大きな学力・波風体験

中高生弁論大会

飛び込む勇気と大人の寄り添いが

○ここで弁論した高校生は皆、「社会を変えたい」「自分を変えたい」ともがき、それでも希望を見出し“行動”しています。同時にそこに併走している大人の姿もあります。その中で、“行動”できる大人が本当の主権者のようにも感じました。（今、世の中でどれだけの大人が主権者なのでしょう。）この弁論を聞くべきは世の中の大人ですね。すでに行動している大人は彼らに背中を押してもらえ、行動していない大人は自分を見返す瞬間になるはず。この弁論大会という場は「新パワースポット」です。かなりエネルギーをもらえました。ありがとうございました。

（教員・第20回弁論大会感想より）

☆ 協力：東海中学・高校弁論部



7月15日(日) 9:30～12:30 椋山女学園中高北斗館231

☆弁論テーマ（弁論時間は一人 6～7分）

①『大きな学力』『されど波風体験』の世界から

波風体験（絶望、挫折、苦難、挑戦、反転・・・）、思わぬ出会いと触発、はっとする体験、世界をひろげた体験など

②「学校」、「授業」、「クラブ」のなかで

③「もうひとつの学校」、地域のなかで

高校生フェス、一億円募金、サマセミ、オータムフェス、ボランティアなどに参加して

④自分の主張

第13回大人が語る「大きな学力・波風体験」

7月15日(日) 13:10～16:10 椋山女学園中高北斗館332

「波風の立つような苦しい体験」を語るにより、その体験を見つめ直すことができます。また、聴くことにより視野を広げ、生きる勇気が湧いてきます。話し手と聞き手が一体となれる講座です。

「されど波風体験」普及推進委員会